

## 第2期経営計画のあらまし

### 第2期経営計画について

社会福祉法人楽友会では、平成年度に策定した長期ビジョン（10年後の将来像）実現に向けて5年ごとの経営計画（中長期計画）を策定しています。令和3年度は第2期経営計画の初年度にあたり、第1期経営計画から引き続き取り組むことや新たな取り組みが示されました。

### 第1期経営計画の振り返り

第1期経営計画では新たな事業として認知症対応型通所介護ほのぼの堀之内、高齢者あんしん相談センター由木東、白楽荘居宅介護支援事業所とよがおかの3つの事業所を開設しました。また、居宅介護支援事業所とよがおかには「健幸つながるひろばとよよん」という地域の方が気軽に利用できるコミュニティスペースも併設しています。

その他、既存事業の充実拡充にも取り組み、5年間で一定の成果を挙げることができました。しかし、新型コロナウイルスの影響により見直しを余儀なくされた取り組みもありました。

### 新規事業

第2期経営計画では新たに認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護の開設を目指すこととしています。特に認知症高齢者グループホームについては、現在楽友会のサービスを利用されている方からも要望が多く、是非実現できるよう取り組んでいきます。また、新規事業ではこの他にも訪問看護についても検討していくこととしています。

### 既存事業の充実

第2期経営計画では各サービスについても目標とする5年後の姿を明示し、その実現に向けて様々な取り組みが計画されています。多摩ニュータウン地域では今後も高齢化率が高まり、高齢者世帯や一人暮らしの高齢者の増加も予想されています。楽友会では特別養護老人ホーム白楽荘や軽費老人ホーム偕楽荘といった入所サービスから通所介護、訪問介護などの各種在宅サービスまで幅広くサービスを展開し、高齢者の福祉介護ニーズに応えられるよう取り組んでいきます。

### 運営管理

各サービスの充実を図るためには運営管理にも注視する必要があります。第二期経営計画では法人を担う人材の確保と育成をはじめ、ガバナンスの強化や経費の見直しなどが計画に位置付けられ、より一層経営基盤の強化に取り組んでいきます。

### 人と人を笑顔でつなぐ

社会福祉法人楽友会の長期ビジョン、第2期経営計画、令和3年度事業計画は、法人ホームページ「楽友会について」→「情報公開」に掲載しています。

